

外国語領域カリキュラム・ポリシー

法学部 ディプロマ ・ポリシー (DP)	コンピテンス	コンピテンシー	法学部 カリキュラム ・ポリシー (CP)	外国語領域カリキュラム・ポリシー	科目〔学年〕
＜自ら学ぶ＞					
DP1	豊かな教養・ 知識に基づく 高い倫理観	社会人たるに必要な 教養と社会科学の知 識を修得し、法令遵 守の精神と高い倫理 観に基づいて、自ら の使命・役割を果た すことができる。	CP1	● 人文科学系外国語文献の読解（言語文化の理解）を通 じ、許容性の高い視点から異文化を理解することができる。	演習 AB（言語・哲学） 演習 CD（文学・思想） 演習 EF（芸術・文化）
DP2	日本及び世界 の社会システ ムを理解し説 明する力	日本及び世界の法、 政治、行政、経済及 びジャーナリズムの しくみと、それが直 面している問題を理 解し、説明すること ができる。	CP2	● 社会科学系外国語文献の読解を通じ、他国の「歴史・ 社会」に接することで、より精妙に世界の問題を理解す ることができる。	演習 GH（歴史・社会）
＜自ら考える＞					

DP3	論理的・批判的思考力	社会通念をふまえ、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	CP3	● 外国語文献の読解（言語文化の理解）を通じ、他国の「言語・哲学」に接することで、論理的かつ批判的に人間について考えることができる。	演習 AB（言語・哲学）
DP4	問題発見・解決力	社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にコミットする中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	CP4	● 外国語文献の読解（言語文化の理解）を通じ、他国の「芸術・文学・思想」に接することで、想像力と発想力を養い、オリジナリティのある視点から問題を発見し、解決することができる。	演習 CD（文学・思想） 演習 EF（芸術・文化）
＜自ら道をひらく＞					
DP5	挑戦力	法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	CP5	● 資格試験受験や海外研修への参加によって積極的・自主的に行動する力を身につけ、就職活動等において、さまざまな挑戦をすることができる。	英検/IELTS I～IV， TOEFL I～IV， TOEIC I～IV， 資格試験対策（独， 仏， 中） I～IV 国際研修（英， 独， 仏， 中， 韓）

DP6	コミュニケーション力	多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質、感性及び価値観を理解・尊重し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。	CP6	● 他（多）言語の学習を通じて、自国の言語文化を相対化して理解し、世界に自国の文化を発信することができる。	すべての外国語科目
DP7	リーダーシップ・協働力	社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	CP7	● 海外研修への参加を通じ、他の参加者と協働し、グループワーク等においてリーダーシップを発揮することができる。	国際研修（英、独、仏、中、韓）
DP8	省察力	他者による評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に	CP8	● 海外研修の体験を振り返り、言語運用能力だけではなく、自己の価値観が研修を通じてどのように変化したかを客観的に捉えることによって、新たな気づきを確認し、自己のグローバルな視野を拓けることができる。	国際研修（英、独、仏、中、韓）

		貢献することができたかを振り返ることにより，生涯にわたり，社会人としての自己を高めることができる。			
--	--	---	--	--	--

外国語領域 学年（段階）ごとの目標

年次	目標
1 年次 《 1 段階 》	・ 専門分野の学習に必要な外国語の基礎を身につけ，基礎的レベルで四技能（読む・書く・聞く・話す）を運用することができる。
2 年次 《 2 段階 》	・ 1 年次で身につけた基礎をもとに，各自のキャリア・デザインにしたがい，より発展的に特定技能を運用することができる。
3 年次 《 3 段階 》	・ 2 年次で身につけた特定技能を，より専門的な分野で高度に運用することができる。
4 年次 《 4 段階 》	・ 3 年次までに身につけた諸技能を相互に関連づけ，将来において国際人として活躍することができる。